

連合 徳島



JTUC-TOKUSHIMA

NO.227 (2010年9月21日)

発行人・小松義明 編集人・齋藤英司

日本労働組合総連合会徳島県連合会

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1

徳島県労働福祉会館6F

088-655-4105 Fax 088-655-4113

E-MAIL info@tokushima.jtuc-rengo.jp

すべての働く者の連帯で、希望と安心の社会を築こう

9月21日(火)第2回組織財政検討委員会(連合徳島)

22日(水)狭山ピラマキ行動 17時45分(JR徳島駅前)

24日(金)中央地協一泊環境学習会 ~25日(かんぽの宿)

〃 眉山ゴミ拾いボランティア

当面の
日程

共 創 和 諧

一連合徳島第8次訪中団一

連合徳島・丹東市総工会友好交流の第8次訪中団(代表団5人、交流団11人)が9月6日~12日の7日間、中国丹東市をはじめ、洛陽・北京を訪れた。

今回の代表団派遣は、連合徳島と丹東市総工会の友好交流に関する協議書に基づく「定期交流」として、丹東市総工会の招待により実施した。今回の訪中団のテーマを「共創和諧」(調和に社会、調和の中日関係、調和の北東アジア圏は私たちが心を一つにして創り上げる)とし、人と人との交流、心の交流を一層深めることを目的に取り組んだ。

6日昼前に大連空港に到着した一行は、丹東市総工会の出迎えを受け、車で約300^キ離れた丹東市へ。18時から中聯ホテルで丹東市総工会主催による歓迎レセプションに参加。唐主席から「第8次訪中団の皆さんの訪問は、友好関係を活発にさせ、日中両国民の世代友好に積極的な役割を果たしている。今回の訪問を通



して、両組合の友好関係はより一層深まり、これからもっと大きな成果を上げることと確信している」と歓迎のあいさつを受けた。続いて、連合徳島代表団・小松団長(連合徳島会長)は「1994年に連合徳島・丹東市総工会友好交流の調印が行われて以来16年間、双方の努力により、様々な分野で友好交流活動に取り組み、民間レベルでの日中両国民の世代友好に積極的な役割を果たしてきた。日中両国は一衣帯水の隣国であり、日中友好事業の取り組みと両国民の相互理解・友誼の促進は、連合徳島・丹東市総工会友好交流の出発点と目的でもある。私も今回はじめての訪問となったが、第8次訪中団の訪問を通じて連合徳島・丹東市総工会



の友好交流が一層深まることと、大きな成果を上げることができる

と確信している。今回の訪問にご尽力頂いた関係各位の皆様へ深く感謝申し上げます」とお礼のあいさつ。その後、各テーブルでは「カンペイ」の発声により、白酒・ビールを酌み交わして友好交流を深めた。

2日目、代表団は総工会事務所で定期協議会を開催。連合徳島から小松団長以下5人(藤岡・齋藤・富田・傅麗)総工会から唐主席、牛常務副主席らが出席した。基本確認として、2011年5月中に丹東市総工会代表団6人を招待する。技術的な研修交流について、連合徳島として(財)国際研修協力機構による「外国人研修・実習制度」について資料を提示し、この制度による研修が可能か双方で研究する。20周年記念事業(2014年)について、今後双方の事務局で協議を行い、諸準備等に取り組む。等、両組合の友好交流推進について基本確認を行

った。この後、丹東市人民政府、丹東市人大常委会を表敬訪問し、意見交換を行った。

この間、交流団は、丹東市内(虎山長城・鳳凰山など)を観光・見学した。

3日目、朝から開発が進んでいる国門湾新区や鴨緑江遊覧船・断橋などを見学。午後、丹東空港から北京経由で洛陽へ。その後、洛陽・北京を見学・視察し、代表・交流団は北京空港より12日に全員元気に徳島の地に帰ってきた。

